

第133回 (令和5年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

代表者名	料金単価	人数
野口 大介	11,700	2
南 ますみ	10,100	4
小池 良一	8,200	3
中村 絵美	12,300	2
小山田 正	7,500	6
戸部 道子	14,600	2
大川 勇気	12,900	4
長田 マイ	9,400	5

<処理条件>

- <出力形式>のような請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- ツアー料金=料金単価×人数
消費税=ツアー料金×10%
請求額=ツアー料金+消費税
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

請求額一覧表

代表者名	料金単価	人数	ツアー料金	消費税	請求額
合計	——	——			
平均	——	——			

第133回 (令和5年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	販売先名	商品名	原価	販売数
101	山西商店	A	2,760	332
102	たからや	B	1,930	283
103	文京商会	C	3,690	271
104	カワモト	D	1,180	400
105	東西商事	E	2,080	426
106	鈴木総業	F	1,610	275
107	丸和物産	G	2,560	376
108	三日月堂	H	2,970	259
109	南海食品	I	3,340	325

<評価表>

利益額	評価
80,000 以下	**
それ以外	*

<処理条件>

- <出力形式1>のような販売先別利益額一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
- 売価=原価×1.17 (整数未満切り捨て)
販売額=売価×販売数
利益額=販売額-原価×販売数
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 販売数の降順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式1>

販売先別利益額一覧表

CO	販売先名	商品名	原価	売価	販売数	販売額	利益額	評価
――	――	――	――	――	――	――	――	――

(途中省略)

――	合計	――	――	――	――	――	――	――
----	----	----	----	----	----	----	----	----

<出力形式2>

原価の平均	
販売額の平均	
利益額の最小	

第133回 (令和5年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

依CO	依頼先名	製CO	加工数
101	名古屋産業	13	4,056
102	SK部品	14	3,578
103	青山製作所	12	4,100
104	新栄工業	11	4,027
105	あすか精工	12	3,417
106	マツカワ	14	4,285
107	大八木製作	13	3,621
108	安藤精密	11	3,904

<製品テーブル>

製CO	製品名	単価
11	製品J	148
12	製品K	137
13	製品L	119
14	製品M	126

<処理条件>

- <出力形式1>のような加工賃支払額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 製品名・単価は<製品テーブル>を表検索しなさい。
- 基本加工賃=単価×3,000
割増加工賃=単価×(加工数-3,000)×1.07 (整数未満切り捨て)
諸経費=(基本加工賃+割増加工賃)×3.9% (整数未満切り上げ)
支払額=基本加工賃+割増加工賃+諸経費
- 加工数が4,100以上または支払額が610,000以上に“A”、それ以外に“B”の評価をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 割増加工賃の多い順に並べ替えなさい。
- 加工賃支払額一覧表の製品名のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。諸経費・支払額は¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 加工賃支払額一覧表の支払額の値を依頼先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“依頼先別の支払額”とし、凡例は“支払額”とする。

<出力形式1>

加工賃支払額一覧表

依CO	依頼先名	製CO	製品名	加工数	単価	基本加工賃	割増加工賃	諸経費	支払額	評価
(途中省略)										
――	合計	――	――	――	――					――

<出力形式2>

	加工数	諸経費	支払額
平均			
最大			
最小			

第133回 (令和5年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商CO	商品名	仕入額	仕入数
11	商品A	943,700	913
12	商品B	1,507,800	997
13	商品C	1,165,600	625
14	商品D	991,300	889

※<出力形式1>で使用する。

販CO	販売先名	商CO	販売数
101	新東海企画	14	401
102	名古屋商事	11	514
103	長谷川総業	12	226
104	あけの物産	11	389
105	ヤマネ商会	13	341
106	J Kマート	12	376
107	西銀座食品	14	470
108	みどり商店	12	380
109	誠実ストア	13	267

※<出力形式2>で使用する。

<値引率表>

販売額	値引率
70万以上	9.8%
60万以上 70万未満	8.7%
1以上 60万未満	7.6%

<判定表>

判定の条件	判定
販売数が380以上かつ請求額が60万以上の場合	***
販売数が380以上または請求額が60万以上の場合	**
それ以外	*

<処理条件>

- <出力形式1>のような商品別仕入一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 手数料=仕入額×3.8%(整数未満切り捨て)
定価=(仕入額+手数料)÷仕入数×1.26(整数未満切り上げ)
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような販売先別請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 商品名・定価は、商品別仕入一覧表を表検索しなさい。
- 販売額=定価×販売数
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(%の小数第1位までの表示とする)
請求額=販売額×(1-値引率)(整数未満切り捨て)
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 販売数の少ない順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 販売先別請求額一覧表の定価と判定のセル証明をしなさい。
- 販売先別請求額一覧表の請求額の値を販売先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“販売先別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

商品別仕入一覧表

商CO	商品名	仕入額	手数料	仕入数	定価
(途中省略)					
——	合計				

<出力形式2>

販売先別請求額一覧表

販CO	販売先名	商CO	商品名	販売数	定価	販売額	値引率	請求額	判定
(途中省略)									
——	合計	——	——						

第133回 (令和5年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商CO	商品名	仕入数	仕入額
11	A商品	1,995	5,834,000
12	B商品	1,843	5,971,000
13	C商品	2,067	7,217,000
14	D商品	2,178	6,053,000

※<出力形式1>で使用する。

販CO	商CO	販売数
101	11	656
101	12	734
101	13	608
101	14	680
102	11	795
102	12	496
102	13	649
102	14	720
103	11	519
103	12	583
103	13	770
103	14	739

※<出力形式2>で使用する。

<仕入値引の計算式>

仕入額	仕入値引
600万以上	仕入額×5.7%
それ以外	仕入額×4.9%

<販売先テーブル>

販CO	販売先名
101	あさひ総業
102	共栄ストア
103	久保田商店

<割引率表>

販売額	割引率
1以上 230万未満	5.8%
230万以上 270万未満	6.7%
270万以上	7.6%

<処理条件>

- <出力形式1>のような商品別仕入一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 仕入値引は<仕入値引の計算式>を参照し、求めなさい。
原価=(仕入額-仕入値引)÷仕入数(整数未満切り上げ)
売価=原価×1.28(10位未満四捨五入)
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような販売先別請求額一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 販売先名、商品名はそれぞれ<販売先テーブル>、商品別仕入一覧表を参照しなさい。
- 販売額=売価×販売数 ※売価は商品別仕入一覧表を参照する。
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
割引額=販売額×割引率(整数未満切り捨て)
請求額=販売額-割引額
- 販売数が720以上または割引額が20万以上に“*”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 販売数の多い順に並べ替えなさい。
- 販売先別請求額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式3>の請求額を商品名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“商品別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

商品別仕入一覧表

商CO	商品名	仕入数	仕入額	仕入値引	原価	売価
(途中省略)						
——	合計				——	——

<出力形式2>

販売先別請求額一覧表

販CO	販売先名	商CO	商品名	販売数	販売額	割引率	割引額	請求額	判定
(途中省略)									
——	合計	——	——			——			——

<出力形式3>

商品別集計表

商品名	販売数	請求額
A商品		
B商品		
C商品		
D商品		

第133回 (令和5年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

販CO	商CO	販売数
101	11	536
102	11	518
103	11	520
104	11	630
101	12	683
102	12	557
103	12	491
104	12	648
101	13	592
102	13	408
103	13	550
104	13	478
101	14	334
102	14	568
103	14	370
104	14	427

<販売先テーブル>

販CO	販売先名
101	朝日山商事
102	九州ストア
103	共栄百貨店
104	ヤマト商店

<商品テーブル>

商CO	商品名	原価
11	W商品	2,136
12	X商品	2,087
13	Y商品	2,958
14	Z商品	3,294

<値引率表>

定価	販売数	
	1~549	550~
1以上 3,700未満	7.1%	7.4%
3,700以上	8.2%	8.5%

<試供品数の計算式>

販売数	試供品数
520以上	販売数×6.7%
それ以外	販売数×5.8%

※試供品数は整数未満切り捨て。

<判定表>

販売数	利益額	判定
520以上 かつ 24万以上		***
520以上 かつ 21万以上 24万未満		**
それ以外		*

<処理条件>

- <出力形式1>のような販売額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 販売先名、商品名はそれぞれ<販売先テーブル>、<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 定価=原価×1.28 (10位未満切り捨て) ※原価は<商品テーブル>を参照する。
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
売価=定価×(1-値引率) (整数未満切り上げ)
販売額=売価×販売数
利益額=販売額-原価×販売数 ※原価は<商品テーブル>を参照する。
- 試供品数は<試供品数の計算式>を参照し、求めなさい。
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式1>と同じ形式で、商品名がY商品以外で試供品数が35以上を抽出しなさい。
表題は“販売額一覧表 (Y商品以外・試供品数35以上)”とし、試供品数の昇順に並べ替えなさい。
- 販売額一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 販売額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の利益額を販売先名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“販売先別の利益額”とし、凡例は“利益額”とする。

<出力形式1>

販売額一覧表

販CO	販売先名	商CO	商品名	販売数	定価	値引率	売価	販売額	利益額	試供品数	判定
――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――
(途 中 省 略)											
――	合計	――	――	――	――	――	――	――	――	――	――

<出力形式2>

販売先別集計表

販売先名	販売数	販売額	利益額
朝日山商事			
九州ストア			
共栄百貨店			
ヤマト商店			

<出力形式3>

販売先名が共栄百貨店以外の利益額の合計	
定価が2,700円以上で利益額が25万円未満の販売額の平均	
販売額が140万円以上で試供品数が40以下の件数	

第133回（令和5年7月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問 題

<入力データ> (36件) ※テキストデータはSPSフォルダー内のデータを使用する。

[データ表]

商CO	委CO	委託数	販売数
11	101	261	240
11	102	328	317
11	103	472	450
11	104	280	248
12	101	250	235
：	：	：	：
14	104	483	446
15	101	250	223
15	102	269	243
15	103	476	461
15	104	354	336

<商品テーブル> [テーブル]

商CO	商品名	定価	値引率		
			販売数		
			1～249	250～449	450～
11	E商品	550	7%	8%	9%
12	F商品	730	8%	9%	10%
13	G商品	620	9%	10%	11%
14	H商品	790	11%	12%	13%
15	I商品	680	13%	14%	15%

<委託先テーブル> [テーブル]

委CO	委託先名	手数料率	目標数
101	朝日ストア	10.8%	3,330
102	新栄百貨店	11.9%	3,520
103	ひまわり堂	12.4%	3,720
104	大久保商事	12.7%	3,190

<処理条件>

- <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式)、<商品テーブル>、<委託先テーブル>を使用し、<出力形式1>のような表を作成。

<出力形式1> [データ表]

商CO	商品名	委CO	委託先名	委託数	販売数	値引率	売価	販売額	手数料	販売率
(途 中 省 略)										
—	合 計	—	—			—	—			—

- 商品名、委託先名はそれぞれ<商品テーブル>、<委託先テーブル>を表検索。
- 値引率は<商品テーブル>を参照し求める。(％表示)
- 売価＝定価×(1－値引率) (整数未満切り上げ)
- 販売額＝売価×販売数
- 手数料＝販売額×手数料率 (整数未満切り上げ)
- 販売率＝ $\frac{\text{販売数}}{\text{委託数}}$ (％の整数未満切り捨て)

- <出力形式1>を基に、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2> [計算表]

商 品 総 括 表

商品名	販売数	販売額	手数料	返品数	判定
(途 中 省 略)					
合 計					—

- 販売数・販売額・手数料は、基表の同項目の値を集計。
- 返品数＝委託数－販売数 ※委託数は基表の同項目の値を集計。
- 返品数が190以上で販売額が販売額の平均以上に“A”の判定をする。

3. <出力形式1>、<委託先テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

委託先別支払額計算表

委CO	委託先名	委託数	販売数	達成率	販売額	手数料	奨励金	支払額
(途中省略)								
	合計							

- 1) 委託先名は<委託先テーブル>を表検索。
- 2) 委託数・販売数・販売額・手数料は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 達成率 = $\frac{\text{販売数}}{\text{目標数}}$ (%の小数第1位未満切り上げ)
- 4) 奨励金は<奨励金の計算式>を参照し求める。

<奨励金の計算式>

販売数	達成率	奨励金
3,400 より多い	または 100.0%より多い	手数料×12.5%
それ以外		手数料×11.5%

※奨励金は10位未満切り捨て。

- 5) 支払額 = 手数料 + 奨励金
- 6) 支払額の降順に並べ替え。

4. <出力形式1>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

<出力形式4> [計算表]

委託数が480以上で販売数が460以下の販売額の合計	
G商品以外で手数料が30,000円より多い件数	

- 1) 上記表の条件に合う値を、基表から集計。

5. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、委託先名別の販売数を折れ線、販売額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

